

MOBILE・Q

1 マイク入力 / 1 ギター入力、2 出力プロフェッショナル
ル・ボーカル・レコーディング USB インターフェース





警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICON製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

本体やACパワーアダプター、充電器などの動作がおかしくなったり、破損しているのにお気付きの場合はすぐにお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- ① アイコンサービスセンター
- ② USBケーブルを抜く
- ③ お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にて修理を依頼する

変な音・
においがしたら、
煙が出たら



警告表示の意

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じることがあります



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の器具に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す
記号

行為を禁止
する記号

行為を指示
する記号



警告

火災



感電



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの となります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。絶対に自分で分解しないでください。内部の点検や修理はお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してください。そして、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご相談ください。

内容物

はじめに	4
同梱品.....	4
機能	5
フロントパネル	6
リヤパネル.....	7
Mac ドライバのインストール	8
ソフトウェアコントロールパネル.....	10
Windows ドライバのインストール.....	11
ソフトウェアコントロールパネル.....	14
ハードウェアの接続	18
最低システム要件.....	20
仕様	21
修理について	22

はじめに

ICON MobileQ シリーズ USB オーディオレコーディングインターフェースをお買い上げいただき、ありがとうございます。弊社はお客様に本製品を末永く御愛用いただけるものと確信いたしておりますが、万一お客様にご満足いただけない場合でも、ご満足いただけるよう努めて参ります。

本書には、MobileQ シリーズ USB オーディオレコーディングインターフェースの特徴、フロントパネル、サイドパネルの詳しい解説と、設定方法、使用方法、そして主要諸元が記載されています。

また、同梱の製品保証書にご記入の上投函していただけますと、www.iconglobal.com にてオンラインサポートをご利用いただけるようになります。保証書のご送付後には、本製品のほか、ICON 製品に関する最新情報をお届けします。他の電子製品と同様、本製品につきましても御購入いただきました際の梱包材一式を保管していただきますようお願い申し上げます。万が一修理のため本製品を弊社に返送していただく必要がある場合は、製品ご購入時の梱包材（あるいはそれと同等の梱包材）が必要となります。

本製品は、適切に整備・お手入れをしていただければ、故障することなく末永くご利用いただけます。後日照会させていただくため、シリアルナンバーを下欄に控えていただけますよう、お願い申し上げます。

照会用シリアルナンバー：

ご購入店舗名：

ご購入日：

同梱品

- MobileQ USB レコーディングインターフェース
- 本ユーザマニュアル
- ドライバソフトウェア CD
各言語版電子版取扱説明書とクイックスタートガイド（PDF）
- USB ケーブル

機能



ICON MobileQ USB レコーディングインターフェースは、USB 接続可能なオーディオ入出力モジュールです。主な機能：

- 24 ビット 96/192KHz 1 マイク入力 /1 ギター入力、2 出力 USB レコーディング・インターフェース
- 2x2 アナログ I/O フルデュプレックス録音再生。
- ICON の画期的な、独立ゲインコントロールとファンタム電源スイッチ付きマイクアンプ。
- 独立した音量調整のある、ICON の画期的なギター・プリアンプ。
- 1/4 インチ TRS ジャックの 2 個のアナログ出力、または 3.5mm フォーン・コネクタのステレオ出力
- 上面パネルのマスター ボリュームコントロール。
- ソース割当可能なヘッドホン出力 1 個。専用ボリュームコントロール付き。
- ソフトウェアコントロールパネルによるフレキシブルチャンネルルーティング。
- 高速 USB2.0 装着。USB バス電源。
- DirectSound、WDM、ASIO2.0 をサポート。
- Mac OS (Intel-Mac)、Windows XP、Vista (32 ビット /64 ビット)、Windows 7 (32 ビット /64 ビット)、Windows 8 (32 ビット /64 ビット) 対応。
- フルデュプレックス、同時録音再生。

フロントパネル



1. 3 ピン XLR (平衡) – +48V ファンタム電源付きコンデンサ・マイクロホン用

1.1. 1/4 インチ TS (不平衡) – ダイナミック・マイクロホン用

各種マイクロホンの接続方法については、P.19 をご覧ください。

注意：マスター・レベル・コントロールは、ライン出力 1/2 と 3.5mm ステレオ出力の出力レベルのみを調整します。

2. 48V ファンタム電源スイッチ

このスイッチを押すと、それに関連した XLR 入力に 48V ファンタム電源が供給されます。このファンタム電源はほとんどのコンデンサマイクに使用できます。

3. 入力ゲインレベルコントロール (アナログマイク)

アナログマイクロホンの入力レベルを調整するポテンショメータ。

4. 入力ゲインレベルコントロール (ギター)

ギターホンの入力レベルを調整するポテンショメータ。

5. ヘッドホンレベルコントロール

ヘッドホン出力の出力レベルを調整するポテンショメータ。

6. ヘッドホン出力

標準 1/4 インチ TRS ヘッドホンコネクター接続用出力ジャック。

7. マスターレベルコントロール

アナログ出力のマスター出力レベルを調整するポテンショメータ。

リヤパネル



1. USB 2.0 コネクタ

付属のケーブルで、本器とご使用の Mac または PC の USB コネクタとを接続します。ご使用の Mac または PC が USB2.0 接続可能でなければ、MobileQ をフルスピードで動作させることはできません。

2. HI-Z 入力

ギター / ベース用ハイインピーダンス入力。

3. ライン出力 L/R

+6dBu ラインレベルの不平衡アナログ出力用標準 1/4 インチ TS コネクタ。

4. ステレオ出力 L/R

標準 3.5mm ステレオ・コネクタから出力される、+6dBu ライン・レベルの不平衡アナログ・ステレオ出力。

Mac ドライバのインストール

次の手順に従って、MobileQ シリーズ USB レコーディングインターフェースとそのドライバをインストールしてください。

1. Mac の電源を入れる

注意：ここではまだ Mac に MobileQ シリーズ デジタルオーディオインターフェースを接続しないでください

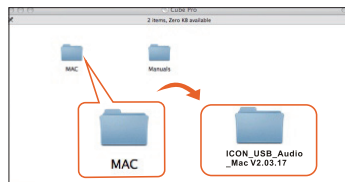


図 1

2. CD-ROM にドライバ CD を挿入する

CD-ROM に本器付属のドライバ CD を挿入すると、図 2 のようなポップアップウィンドウが表示されます。「Mac」フォルダをクリックするとインストールファイルの一覧表が開きます。「ICON_MobileQ.mpkg」をクリックしてください。

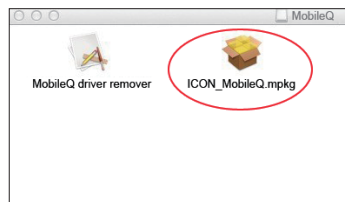


図 2

3. ようこそ」画面が表示される

図 3 のような「ようこそ」画面が表示されたら「継続」を選択してください。

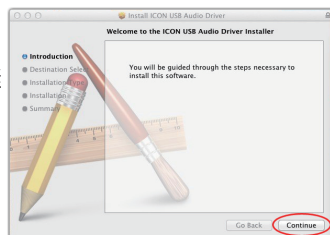


図 3

4. インストール場所を設定する

好みのインストール場所を設定したい場合は「インストール場所を変更する」ボタンをクリックします。それ以外は、「インストール」ボタンをクリックしてください。

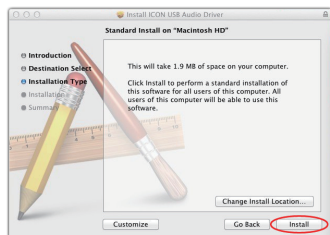


図 4

5. インストールの開始

ドライバのインストールが開始されます。このプロセスが完了するまでお待ちください。

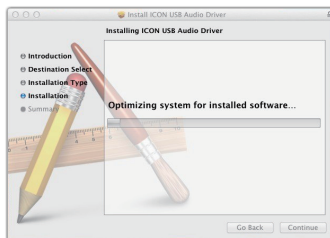


図 5

6. インストールの完了

ドライバのインストールが完了しました。「閉じる」ボタンをクリックしてください。

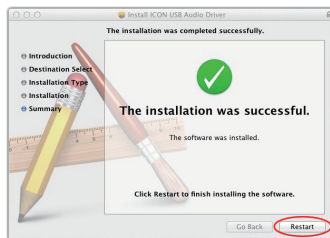


図 6

7. デスクトップにソフトウェアコントロールパネルのショートカットロゴをコピーする

上で示した「Mac」フォルダを開きます。

「MobileQ」ソフトウェアパネルのショートカットロゴをコピーし、デスクトップに貼り付けてください。

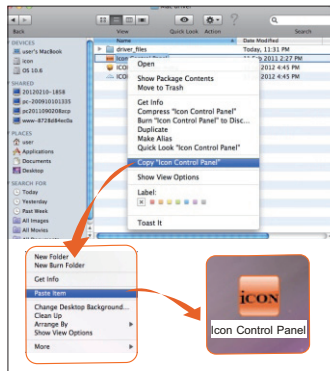


図 7

8. ソフトウェアコントロールパネルを起動する

たった今デスクトップにコピーした MobileQ ソフトウェアコントロールパネルのショートカットロゴをクリックすると、ソフトウェアコントロールパネルが起動します。

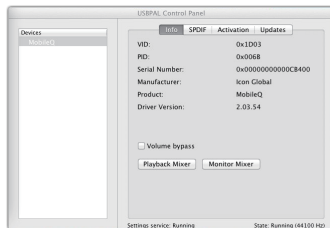


図 8

9. オーディオ MIDI セットアップ

「オーディオ MIDI セットアップ」ウィンドウを開き、下の図 9 のように、MobileQ デバイスのセットアップが正しく行なわれたかを確認してください。MobileQ デバイスがシステムセットアップに表示されない場合、インストールが正しく行なわれていないので、もう一度「ドライバのインストール」手順を実行してください。

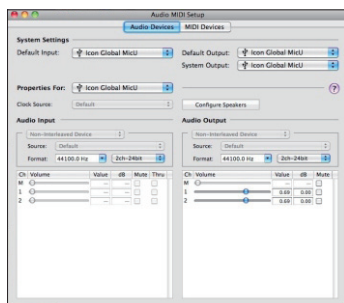


図 9

ソフトウェアコントロールパネル

「再生」ミキサと「モニタ」ミキサは、マトリックスミキサと同様に作動します。対応する入力または出力チャンネルレベルを起動して調整してください。これらは大変便利で、入出力が非常に柔軟に行なえます。任意の入力を任意の出力に対応させることができます。

再生ミキサ

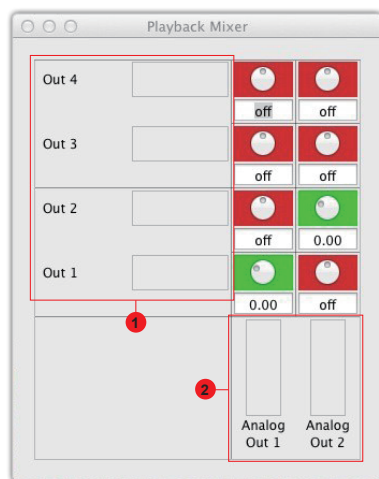


図 10

1. ソフトウェア出力レベルメーターリング

チャンネル 1、2 出力レベルメーターリング
ソフトウェア入力チャンネルの入力レベルを表示します。

2. ハードウェア出力レベルメーターリング

チャンネル 1、2 出力レベルメーターリング
ハードウェア出力チャンネルの出力レベルを表示します。

モニタミキサ

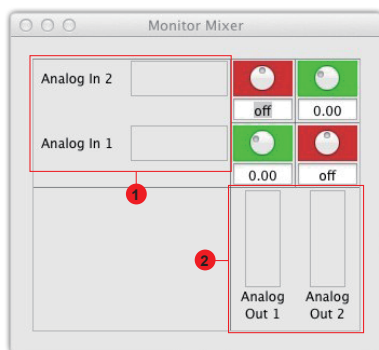


図 11

1. ハードウェア入力レベルメーターリング

チャンネル 1、2 入力レベルメーターリング
ハードウェア入力チャンネルの入力レベルを表示します。

2. ハードウェア出力レベルメーターリング

チャンネル 1、2 出力レベルメーターリング
ハードウェア出力チャンネルの出力レベルを表示します。

Windows ドライバのインストール

次の手順に従って、MobileQ シリーズ USB レコーディングインターフェースとそのドライバをインストールしてください。

1. コンピュータの電源を入れる

注意：ここではまだコンピュータに MobileQ シリーズデジタルオーディオインターフェースを接続しないでください

2. CD-ROM にドライバ CD を挿入する

CD-ROM に本器付属のドライバ CD を挿入すると、図 12 のようなインストール画面が表示されます。ドライバをインストールするには、「Windows ドライバ」をクリックします。

注意：インストール画面が自動的に表示されない場合、CD のフォルダで、「セットアップ」をダブルクリックしてください。



図 12

3. インストールウィザードが表示される

図 13 のような「ようこそ」画面が表示されたら「次へ」を選択してください。

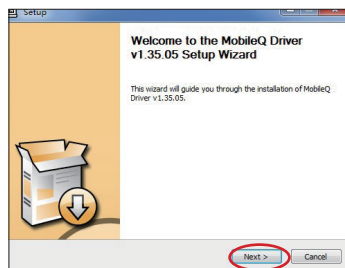


図 13

4. ライセンス契約書

「ライセンス契約書の条項に同意します」にチェックマークを入れ、「次へ」をクリックします。

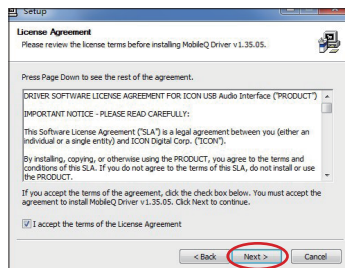


図 14

5. ドライバインストールの確認

ドライバインストールの確認画面が表示されたら「次へ」をクリックします。



図 15

6. ドライバセットアップ

図 16 に示すようにドライバをインストールする場所を選択して「次へ」をクリックします。

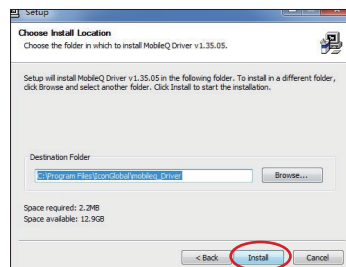


図 16

7. インストールの開始

インストールプロセスが開始されます。ご使用のコンピュータの性能によってこのプロセスに要する時間が異なります。プロセスが終了するまでお待ちください。

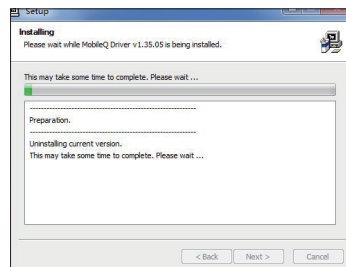


図 17

8. ソフトウェアインストールウィンドウ

図 18 のようなウィンドウが表示されます。「とにかくこのドライバソフトウェアをインストールする」を選択してください。

注意: このようなメッセージが表示されますが、MobileQ シリーズのドライバは Windows XP、Vista、Windows 7、Windows 8 でサポートされることが試験済みですからご安心ください。

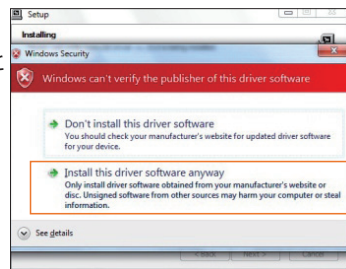


図 18

9. セットアップの完了

図 19 のようなウィンドウが表示されます。「次へ」を選択してください。

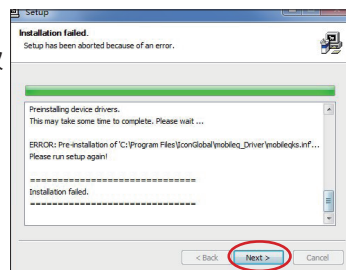


図 19

10. MobileQ シリーズデジタルオーディオインターフェースを接続する

ではここで、コンピュータの USB ポートに MobileQ シリーズデジタルオーディオインターフェースを接続して、「終了」をクリックしてください。

注意: MobileQ シリーズオーディオインターフェースは USB 2.0 しかサポートしません。ですから、ご使用のコンピュータには USB 2.0 が装着されていないとなりません。

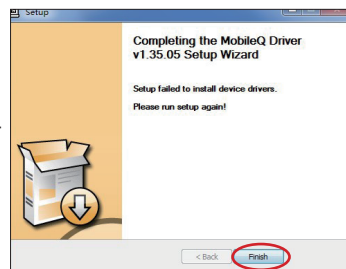


図 20

11. デバイスドライバソフト

ウェアのインストール MobileQ ドライバがインストールされます。

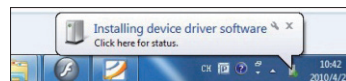


図 21

12. ドライバのインストールの完了

MobileQ ドライバのインストールが完了したので、使い始めることができます。

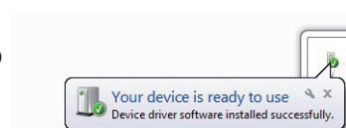


図 22

13. ソフトウェアコントロールパネルを起動する

システムトレイの MobileQ ログをクリックすると、ソフトウェアコントロールパネルが起動します (14 ページ)。

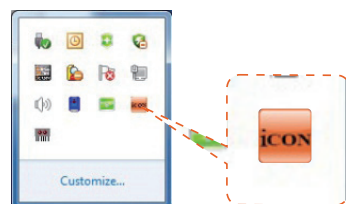


図 23

ソフトウェアコントロールパネル

1. サンプリングレートの設定

図 24 のプルダウンウィンドウで、44.1kHz ~ 192kHz のいずれか希望のサンプリングレートを選択してください。選択した後で「適用」をクリックすると、その値に設定されます。

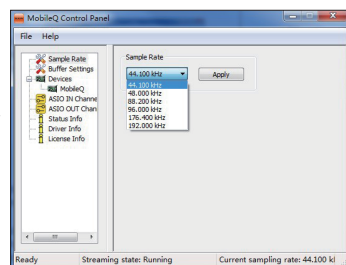


図 24

2. バッファサイズの設定

「ストリーミング」と「ASIO」のバッファサイズを選択することができます。選択した後で「適用」をクリックしてください。

注意: クリック音が聞こえたら、さらに大きなバッファサイズに設定を変更してください。一番大きなバッファサイズを選択した場合でもクリック音が聞こえることがあります。これは、ご使用のコンピュータの性能が不十分なため、タスクを処理しきれないことを意味します。（これは、MobileQ シリーズ デジタルオーディオインターフェースから発生する音ではありません）

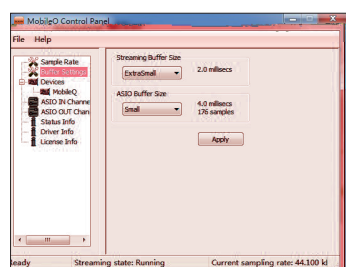


図 25

3. デバイスの設定

MobileQ デバイスのシリアル番号と製品 ID が表示されます。表示されない場合、デバイスが正しく接続されていないことを意味しています。もう一度「ドライバのインストール」手順（11 ページ）を繰り返してください。

4. モニタミキサ

このボタンをクリックすると、「モニタミキサ」（15 ページ）が起動します。

5. 再生ミキサ

このボタンをクリックすると、「再生ミキサ」（16 ページ）が起動します。

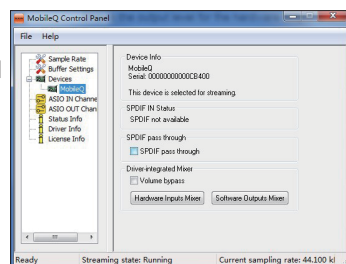
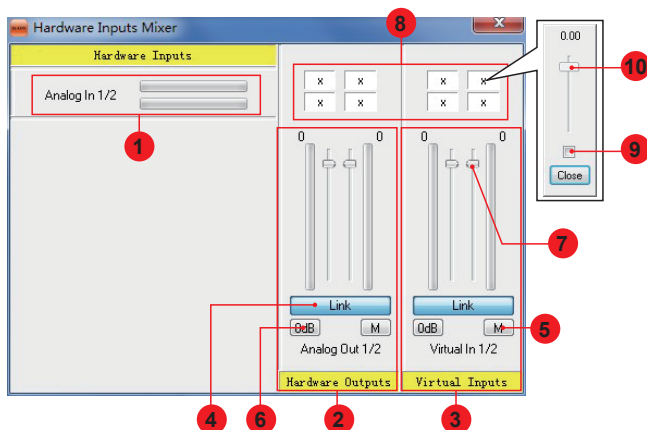


図 26

モニタミキサ



1. ハードウェア入力レベルメーターリング

チャンネル入力レベルメーターリング

ハードウェア入力チャンネルの入力レベルを表示します。

2. ハードウェア出力レベルメーターリング

チャンネル 1、2 出力レベルメーターリング

ハードウェア出力チャンネルの出力レベルを表示します。

3. 仮想入力レベルメーターリング

仮想 1、2 入力レベルメーターリング

仮想入力チャンネルの入力レベルを表示します。

4. リンクスイッチ

両方のチャンネルを同時に調整するスイッチ。

5. ミュートスイッチ

対応するチャンネルをミュートするスイッチ。

6. 「0dB」スイッチ

対応するチャンネルを瞬時に「0dB」レベルに調整するスイッチ。

7. ゲインコントロールフェーダー

これをスライドして、対応するチャンネルのゲインレベルを調整します。

8. 入力 & 出力マトリックススイッチ

ハードウェア入力チャンネルとそれに対応するハードウェア出力チャンネルとのルートをオンオフするスイッチ。このマトリックスは大変便利で、入出力が非常に柔軟に行なえます。任意の入力を任意の出力に対応させることができます。

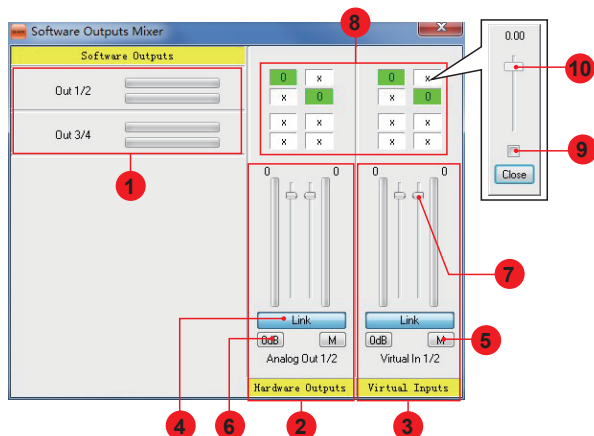
9. 入力 & 出力マトリックスミキサ

このボックスにチェックマークを入れるとミキサが起動します。

10. 入力 & 出力マトリックスミキサゲインコントロール

対応するハードウェアチャンネルのゲインを調整します。調整が終わったら、「閉じる」をクリックしてウィンドウを閉じます。

再生ミキサ



1. ソフトウェア出力レベルメーターリング

チャンネル 1、2 出力レベルメーターリング
ソフトウェア入力チャンネルの入力レベルを表示します。

2. ハードウェア出力レベルメーターリング

チャンネル 1、2 出力レベルメーターリング
ハードウェア出力チャンネルの出力レベルを表示します。

3. 仮想入力レベルメーターリング

仮想 1、2 入力レベルメーターリング
仮想入力チャンネルの入力レベルを表示します。

4. リンクスイッチ

両方のチャンネルを同時に調整するスイッチ。

5. ミュートスイッチ

対応するチャンネルをミュートするスイッチ。

6. 「0dB」スイッチ

対応するチャンネルを瞬時に「0dB」レベルに調整するスイッチ。

7. ゲインコントロールフェーダー

これをスライドして、対応するチャンネルのゲインレベルを調整します。

8. 入力 & 出力マトリックススイッチ

ハードウェア入力チャンネルとそれに対応するハードウェア出力チャンネルとのルートをオンオフするスイッチ。このマトリックスは大変便利で、入出力が非常に柔軟に行なえます。任意の入力を任意の出力に対応させることができます。

9. 入力 & 出力マトリックスミキサ

このボックスにチェックマークを入れるとミキサが起動します。

10. 入力 & 出力マトリックスミキサゲインコントロール

対応するハードウェアチャンネルのゲインを調整します。調整が終わったら、「閉じる」をクリックしてウィンドウを閉じます。

ハードウェアの接続

MobileQ シリーズデジタルオーディオインターフェースの出力を、ご使用のアンプやパワードモニターやサラウンドシステムに接続してください。

ヘッドホンでモニタする場合、デバイスのヘッドホン出力にヘッドホンを接続してください。

本器のアナログ入力に、お使いのマイク / ギター・口ホンを接続します。



各種マイクロホン接続図



注意：ダイナミック・マイクロホンをお使いになる場合には、マイクロホンが破損することがあるので、接続前に必ず +48V ファンタム電源スイッチを「オフ」にしてください。

最低システム要件

重要: MobileQ シリーズデジタルオーディオインターフェースは、Mac OS (Intel-Mac)、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 (32 ビット /64 ビット)、Windows 8 (32 ビット /64 ビット) で動作します。MobileQ シリーズデジタルオーディオインターフェースは、Windows 98 や Windows Me では動作しません。Windows XP の場合、SP1 またはそれ以降がインストールされている必要があります。Windows アップデートサイトにアクセスし、マイクロソフトが提供している現行のアップデートや修正がインストールされていることを確認してください。Mac の場合、MobileQ シリーズデジタルオーディオインターフェースは Mac OSX version 10.5.5 またはそれ以降 (Intel-Mac のみ) でしか動作しません。それ以前のバージョンの Mac OS では動作しません。

Windows OP:

Pentium 4 -1.0 GHz or higher
1.0 GHz RAM
DirectX 8.1 or higher
Windows XP (SP1), Windows 2000 (SP3),
Windows Vista or Windows 7

Mac OP:

Intel-Mac 1.0 GHz or higher
1.0 GHz RAM
OS 10.5.5 or later

仕様

Mic Input:

Frequency Response	22Hz to 22kHz (+/-0.1dB)
Dynamic Range	93dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio	-93dB, A-weighted
THD+N	<0.0061% (-90dB)
Crosstalk	-87dB @ 1kHz
Input Impedance: Mic in	1.8K Ohms, typical
Adjustable Gain	+34dB

Inst Input:

Frequency Response	22Hz to 22kHz (+/-0.1dB)
Dynamic Range	93dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio	-93dB, A-weighted
THD+N	<0.0061% (-90dB)
Crosstalk	-87dB @ 1kHz
Input Impedance: Inst in	500K Ohms, typical;
Adjustable Gain	+31dB

Line Outputs 1/2 (Stereo, Unbanced):

Frequency Response	22Hz to 22kHz (+/-0.1dB)
Dynamic Range	100dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio	-100dB, A-weighted
THD+N	<0.003% (-90 dB)
Crosstalk	-100dB @ 1kHz
Nominal Output Level: Unbalanced	+4dBV, typical;
Maximum Output Level	+11dBV, typical;
Output Impedance	150 Ohm
Load Impedance	600 Ohm minimum

Headphone Outputs: (at Maximum Volume; Into 100 Ohm load):

Frequency Response	22Hz to 22kHz (+/-1dB)
Power into Ohms	90 mW into 100 Ohms
THD+N	<0.06% (-66dB)
Signal-to-Noise Ratio	-90dB, A-weighted
Max Output Level into 100 Ohms	+2.0dBV, typical
Output Impedance	75 Ohm
Load Impedance	32 to 600 Ohms

修理について

本製品の修理が必要な場合は、以下の手順に従ってください。

1. 問題の原因が誤操作や外部システムデバイスではないことを確認してください。
2. 弊社にて修理の際、本書は不要ですので、お手元に保管してください。
3. 同梱の印刷物等や箱など、購入時の梱包材で本製品を梱包してください。梱包材がない場合は、必ず適切な梱包材で梱包してください。工場出荷時の梱包材以外の梱包材が原因で発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。
4. 弊社サービスサポートセンターまたは地区内の正規サービスセンターに本製品を送付してください。

アメリカ事務所

ICON Digital Corporation
8001 Terrace Ave., Suite 201
Middleton, WI, 53562
USA

アジア事務所

ICON (Asia) Corp.
Unit 807-810, 8/F., Sunley Centre,
No. 9 Wing Yin Street, Kwai Chung, NT.,
Hong Kong.

5. その他更新情報は、弊社ウェブサイト (www.icon-global.com) をご覧ください。



iCON®
www.icon-global.com
info@icon-global.com

